

令和4年度入学 物理学専攻自己推薦入試

最新情報に関しては理学研究科および物理学専攻ウェブページで
確認をお願いします。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html#8>
http://www.phys.tohoku.ac.jp/admission/graduate-school_entrance/

副専攻長 今井 正幸

**募集要項は4月末
公開予定**

大学院入試に関する問合せ用 E-mail:
sci-in@grp.tohoku.ac.jp

物理学専攻の自己推薦入学試験で求める人物像

物理学専攻では、素粒子、宇宙論、原子核の分野や物質の構造や性質に関する物性物理分野において、自然現象に潜む基本法則や原理を発見し、新しい現象を予測、説明することを目指して、研究および教育を実施してきました。しかし最近の学問の発展に伴い、物理学の各分野でも学際化が急速に進んでいます。これからは物理学の周辺領域への融合を積極的に図りながら、新たな学問分野を創生する必要があります。

このため自己推薦入試では、従来の筆記試験による選抜とは異なる視点に立ち、様々な特性と才能を備えた多様な学生を選抜します。物理学もしくは隣接分野で十分な基礎学力を習得し、当大学院において複合的視点での学習・研究を達成できる能力を持つ、学習意欲にあふれた方を募集します。

東北大学理学部物理学科卒業（見込）以外の人材にも
ひろく門戸を開放したい

出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当する方が出願できます。

- ① 大学を卒業した者及び令和4年3月までに大学を卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育による16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育による16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に飛び入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力を有すると認められたもの
- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月末日までに22歳に達するもの

東北大学理学部物理学科卒業・卒業見込みの者は自己推薦入学試験応募不可

出願要件

- 1)学業成績、人物ともに優れ、将来、物理学研究分野において貢献できる者。
さらに、博士後期課程への進学を希望する意欲のある者。
- 2)合格した場合、入学が確約できる者。
- 3)大学卒業に必要な単位数の80%以上を出願時までに取得済みであること。
- 4)志願者は志望する研究グループをひとつ選択し、**担当教員にまずは相談。**
受け入れ承認が得られれば、出願書類6-(2)のうち、④成績証明書、⑥志望理由書、⑦研究計画書、⑧学力評価の参考となる資料を提出し、入学後の研究計画についてよく相談し受入の承認を得た上で出願すること。担当教員との相談と上記書類の提出は、**5月17日(月)**までに行うこと。その後5月24日(月)ごろまでに担当教員より受け入れの可否が通知される。

なお、出願に当たっては、上記書類のうち、⑦研究計画書については必要に応じて担当教員との相談に従って変更したものを提出しても構わない。(変更のない場合は同一のものを提出すること。他の書類は原則として同じものを提出すること)

令和4年度入学自己推薦入試の手順

5月17日(月)までに：担当教員に連絡し、必要書類(成績証明含む)を提出

志望研究グループを一つ選択し、担当教員に、理学研究科自己推薦入試募集要項の中の下の4点を郵送、あるいは(可能なものは)電子メールで提出。(下表の丸数字は募集要項P7-8出願書類等のNo.と対応しています。)

④	成績証明書	出身(在学)大学が作成したもの。(厳封)
⑥	志望理由書	大学で学んできたこと、志望専攻で学びたいこと、現在の専門分野から当該専攻に志願した理由を、それぞれ400字程度にまとめて、A4判1ページ。(様式任意)
⑦	研究計画書	志望の分野で行う研究について、A4判1ページ(800字程度)にまとめる。(様式任意)
⑧	学力評価の参考となる資料	TOEFL、TOEIC、英検などの成績証明書、各種資格の証明書、などがあれば提出。(コピーでも可)

5月24日(月)頃：担当教員より受入可否の通知

6月1日(火)～7日(月)：出願書類等の受付期間

7月3日(土)：面接試験(今年に変更がある可能性があるためweb pageをよく確認すること！)

※面接試験については、状況によっては、インターネットを利用して実施することもあります。

7月5日(月)：合格内定者発表物理学専攻ウェブサイトおよび理学研究科合同B棟1階掲示

(注) なお、自己推薦入試に合格内定しなかった場合でも、一般入試には応募できます。

令和4年度入学自己推薦入試

従来の筆記試験による選抜とは異なる視点に立ち、様々な特性と才能を備えた多様な学生を選抜します。物理学もしくは隣接分野で十分な基礎学力を習得し、当大学院において複合的視点からの学習・研究を達成できる能力を持つ、博士後期課程への進学を希望する意欲のある方を募集します。

募集人員：10名

自己推薦入試出願資格：東北大学理学部物理学科卒業(見込)以外の方に限る。自己推薦入学試験で求める人間像、およびそのほかの資格要件については、下の理学研究科自己推薦入学募集要項（物理学専攻自己推薦入試HPからリンクをたどれます）を参照してください。

理学研究科および物理学専攻のweb pageから最新情報を確認してください。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html#8>

http://www.phys.tohoku.ac.jp/admission/graduate-school_entrance/

大学院入試に関する問合せ用 E-mail:

sci-in@grp.tohoku.ac.jp